

| 教科 | 学級 | 単元名 | 教材について | 授業者 |
|-----|----|--|---|---------|
| ①英語 | 1A | Is This Too Much? (Japanese Style) | 謝罪や謙遜に対する日本人と外国人の考え方の違いに気づき、日本人のコミュニケーションの特徴に着目した子どもは、「日本人は相手のことを考え過ぎているのだろうか」という問題について考えています。日本人の謝罪や謙遜、へりくだる態度について、外国人がどのように感じているのか、取材をとおして問題解決に迫りました。日本人と外国人との考えを比較しながら意見交流に臨む子どもの姿に注目です。 | 加藤 佑樹 |
| ②保体 | 1B | Rope Dance Revolution (現代的なリズムのダンス) | ロープダンスの演技を試作した子どもは、互いの演技を見合いました。さまざまな技を取り入れながら完成させた演技に拍手が湧き起こりました。しかし、同じような技が続くことや、動きがバラバラであることに気づいた子どもは、「一体感のある演技にするにはどうすればよいのだろうか」という問題を見いだしました。一体感とは何かを追究し、その先にある演技を求め、考え続けます。 | 佐野 克成 |
| ③音楽 | 1C | 音色から広がる世界 (創作) | トーンチャイムと出会い、音色の美しさに魅了され、トーンチャイムの音色を生かして附中のHPに合う音楽づくりを始めました。附中のイメージを音楽で表現するため、トーンチャイムを奏でながら試行錯誤を続けています。何度も吟味していく中で、どのような音楽をつくっていくのでしょうか。 | 伊豫田 美奈子 |
| ④国語 | 1D | ありふれた日常を彩る (エッセイの創作) | インパクトに欠けている、どうにも生き生き感がだせないという思いから、「臨場感のあるエッセイにするには、どうすればよいのだろうか」という問題を見いだしました。向田邦子氏のエッセイを読み返したり、互いの作品を読み合ったりしながら、何度も作品の修正を続けています。試行錯誤を繰り返す子どもは、最終的にどんな作品を生み出し、どんなテクニックを編み出していくのでしょうか。わくわくが止まりません！ | 有田 弘樹 |

| | | | | |
|-----|----|--------------------------|---|-------|
| ⑤美術 | 2A | 体育大会への思いを掲げる (デザイン) | <p>附中の体育大会からイメージを広げ、「一心と情熱」をテーマにフラッグのデザインを考えることをとおして、「クラスカラーの青色が活かされるデザインするにはどうすればよいのだろうか」という問題を見いだしました。配色や構成、フォントといった造形的な視点で試行錯誤しながらデザインを練り、思いの伝わる表現の工夫を模索していきます。</p> | 鈴木 朝弓 |
| ⑥技術 | 2B | Re:くびっタケ!? (材料と加工の技術) | <p>使用済みの竹を再利用した学校生活に役立つベンチの設計をとおして、「長い間使えるベンチにするためには、どのように工夫すればよいか」という問題を見いだしました。実際に竹を加工しながら検証する日々が続いています。「耐久性」「接合方法」「座り心地」とさまざまな視点で考えを見つめ直しながら、持続可能なものづくりの本質に迫っていきます。</p> | 松井健太郎 |
| ⑦社会 | 2C | あゆみ寄る (中部地方) | <p>子どもたちは三河全域に広がってアユについて調べています。漁協、養殖場、水族館など、子どもたちの取材へのエネルギーは尽きません。しかし、アユは普段あまり食べない、という疑問から「アユの価値はどんなところにあるのか」と問題を見いだしました。天然や養殖に関わらず、アユの価値について考えていきます。</p> | 内藤 恵三 |
| ⑧理科 | 3B | Just 50! (運動とエネルギー) | <p>子どもたちはモルックで勝つためには、ラスト一投を狙い通りに投げる必要があることを共有し、「一発で1本のスキットルを倒すにはどうすればよいのだろうか」という問題を見いだしました。軌道や回転を分析しながら問題解決に迫っていく姿に注目です。</p> | 石川 達也 |
| ⑨家庭 | 3C | はじめの一步 (家族・家庭生活) | <p>子どもたちは幼稚園の子がみんなで楽しく遊ぶための集団遊びを考え、それぞれの遊び方を批評し合うなかで、人見知りの子は集団遊びに加わることは難しいという思いを共有し、「どの子も楽しく遊べるようにするにはどうすればよいのだろうか」という問題を見いだしました。取材や自身の経験をもとに考えを深めながら問題解決に迫る子どもの姿に注目です。</p> | 中西 正善 |

| | | | | |
|------|----|---------------------------------|---|-------|
| ⑩数 学 | 3D | 大阪城攻略へ どうする家康 (関数 $y=ax^2$) | 子どもたちは大砲モデルを用いて、砲弾の飛び方を追究してきました。しかし、天守閣に砲弾を当てるには飛距離だけでなく、高さを含めた軌道そのものを把握する必要があります。「どうすれば砲弾の軌道を予測することができるだろうか」という問題を見いだしました。大砲モデルから撃ち出された砲弾の軌道の変化に迫り、解決に迫っていく子どもの姿に注目です。 | 岡田 淳也 |
| ⑪国 語 | 1A | 移りゆくもの (短編小説) | 「ココロコ」は発展と衰退を繰り返す文明の象徴だと共有した子どもは、「私たちはまだ旅の途中なのだ」の意味が捉えられていないことに気づき、「最後の一文をどのように解釈するか」という問題を見いだしました。「私たち」が誰を指すのか、タイトルとどのような関係があるのかなど、意見交流をする中で、子どもがどのような考えに至るかに注目です。 | 鈴木 一史 |
| ⑫社 会 | 1C | 家康だけじゃない！ (中世の日本) | これまでに何度も見かけたあの建物や、憧れの高校の門などは文化財だった！ 岡崎には、人々にあまり知られていない歴史や価値をもつ文化財がたくさん。それらの中には、文化財に登録されていても存続の危機に瀕しているものも…。岡崎の宝は家康だけじゃない！ 岡崎市の文化財を守り続けるには、どうすればよいのか。最善の方法を追究中です。 | 今村 伸昭 |
| ⑬数 学 | 2A | SHIN 附中生活の創造 (箱ひげ図とデータの活用) | 追究を進める中で、「分析方法によって最速の方法が異なってしまう。」「誰もが納得し、おすすめてできる結論は何なのか」という問題に直面し、悩む子どもたち。条件を整え、分析方法を工夫しながら追究を進めています。果たして、どんな結論を導くのか。問題解決に迫る姿に注目です。 | 山田 泰介 |
| ⑭理 科 | 2B | 附中の輝く未来のために (いろいろな化学変化) | さびを取り除くために、こすったり、薬品をつけたりして、金属板から取り除きました。これで、校舎にあるさびを取り除こうとしたとき、取り除いたさびが再びできていました。「さびを再びできにくくするためには、どうしたらよいだろうか」ベストな方法を考え、追究しています。 | 鈴木 悠里 |

| | | | | |
|-----|----|---|---|-------|
| ⑮国語 | 2D | 十七音で織りなす言葉の世界 (俳句創作) | 「うずしお」のアートで俳句を創作しようと決めた子どもたち。アートを、困難さに立ち向かう勇敢さが描かれていると解釈しました。そして、十七音という限られた字数で表現するには、「『困難さ』を巧みに表現することで『勇敢さ』が感じられる俳句にするべきだ」と考えを共有し、創作に取り組んでいます。どんな俳句ができあがるのでしょうか。自分の考えを伝えようと、うずうずしている子どもの姿に注目です。 | 川村 大樹 |
| ⑯英語 | 3A | Is this Japanese One? (Japanese and Foreign Culture) | ある調査の結果から、外国人がカレーを日本の伝統料理として評価している現状を知り、違和感をもちました。そして「どうして外国にルーツをもつものが日本のものとして外国人に受け入れられているのだろうか」という問題を見いだしました。外国人への取材をとおして、外国人が評価する日本の魅力の核心に迫っていきます。 | 鬼頭 美樹 |
| ⑰保体 | 3D | Design a Beautiful Goal (球技・ゴール型) | 各チームの守備が上達し、パスが繋がらず攻撃を防がれる場面が増えました。強引にシュートを打つことには限界があることから、シュートチャンスを意図的につくる必要があるという考えを共有し、「どうすればシュートチャンスを生み出せるだろうか」という問題を見いだしました。メンバーの配置やパスのつながり方など、シュートチャンスを生み出すために必要なことについて思考錯誤を重ねています。 | 河合 貴宝 |